



## 技能実習生共同受入事業 活動報告

協同組合 維新  
外国人技能実習生事業部

約3年間続いたコロナ禍は、技能実習生の往来に影響を与えていましたが、ようやく解消に向かいつつあります。2022年9月には、帰国困難となっていた技能実習生1名が無事帰国できました。また、2023年2月には、インドネシアバリ島にて農業職種の現地採用面接と、実習生・面接合格者の実家訪問を実施することができました。他には、「介護」の技能実習生4名が技能実習を無事修了し、特定技能就労者として新たな道を進んでいます。現在は「農業」「介護」職種にて合計9名の技能実習生が実習を行っています。

### <農業>

2022年5月に配属された1期生は、農業技能評価試験初級に無事合格し、2023年3月から2年目の実習を開始しています。

2023年2月には2期生の現地採用面接にインドネシアバリ島を



訪問しました。面接の結果、1名の受け入れが決定し、来日手続きを進めています。また、受入先社長の希望により、現在実習中の実習生2名の実家と、今回の面接合格者1名の実家訪問を行いました。

### <介護>

「介護」の技能実習生の初めての受入れから3年が経過しました。

初めての受け入れとなったベトナム人技能実習生4名は、2022年秋の専門級試験を皆合格し、2023年2月に無事修了となりました。修了後は皆在留資格「特定技能」に移行しており、引き続き同じ受入先で就労する者もいれば、新しい環境で就労する者もあり、それぞれの道を進んでいます。

ミャンマー人実習生は3年目の実習に入っており、面談では実習修了後の進路について、介護福祉士の資格取得を目指したい、特定技能で就労したいなど、いろいろな思いを聞いています。

それぞれが思う道に進んでいけるように、支援を続けて参ります。



### <制度の見直しについて>

現在、技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議が行われ、制度の見直しが進んでいます。

今後の方向性については具体的な制度設計の議論が行われ、取りまとめが行われるとのこと。

当組合といたしましては、小規模の受け入れではありますが、今現在受け入れている実習生および受入先が互いに安心して実習を継続し、生活を送ることができるよう、法令遵守に努め、実習生および受入先組合員様のサポートに邁進して参ります。